

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月11日更新

事務事業名		戸籍事務連絡協議会参画事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	1	自治の健幸		所属部	市民生活部
	施策	2	行政経営の推進・改革		所属課	市民課
	業務分野	7	市民サービスの向上		所属班	戸籍住民班
課長名		坂本 好幸		担当者名		遠坂 未来子
予算科目		会計一般	款 2	項 3	目 1	事業連番 11093
法令根拠		戸籍事務協議会会則				
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	菊池阿蘇地区戸籍住民基本台帳事務協議会を合志市・菊陽町・大津町・西原村の4市町村で組織しており、毎月の法務局定例会において協議問題の研修や年1回協議会主催で、管内新任職員を対象に戸籍導入研修を実施して講師に担当者が当たっている。また、県や九州地区協議会の研修会や法務局主催の戸籍初級者・中級者研修に参加し専門知識を習得している。(定例会12回・九州地区協議会1回・県協議会1回・導入研修1回・初級者研修1回・中級者研修1回・総会2回)＜令和4年度まではコロナ禍の影響で書面決議等で議事が行われたが、今年度は対面での総会が開催され、初任者研修等も対面実施された。＞
【業務の流れ】	負担金の納入、協議会・研修会への参加、文書・資料の作成
【主な予算費目】	①旅費(普通旅費) ②負担金補助及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画
①6年度事務事業の成果・実績
戸籍事務に関する研修を受講することにより、専門知識を習得できた。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)
戸籍事務に関する研修を受講することにより、専門知識を身につける。

③予算の主な増減の理由
令和7年度は沖縄県での開催のため普通旅費の増

成果指標	(単位)	データ取得方法
ア 研修を受講した者の中で研修を終了した者の割合	%	
イ		
ウ		

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ									
	ウ									
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円		16	16	29	16	16	16	16
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	16	2	16		18	18	18	18
	(A)事業費計	千円	16	18	32	29	34	34	34	34

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)
令和5年度からコロナ禍の収束とともに会議・研修が対面で実施再開され、職員の研修や知識の習得につながった。

(4)今後の事業の方向性
 廃止
 縮小
 事業のやり方改善
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)